

## 第4回 教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和5年4月19日(水) 午前9時58分
- 2 開催場所 大町市役所 西会議室
- 3 出席委員 教 育 長 中 村 一 郎  
同 職 務 代 理 者 中 山 晴 隆  
委 員 下 川 清 志  
委 員 森 し の ぶ  
委 員 北 澤 明 美
- 4 説明のため出席した者  
教 育 次 長 太 田 三 博  
学 校 教 育 課 長 平 林 政 規  
生 涯 学 習 課 長 藤 卷 孝 之  
ス ポ ー ツ 課 長 松 下 明 夫  
山 岳 博 物 館 館 長 鈴 木 啓 助  
国 民 ス ポ ー ツ 大 会 準 備 室 長 牛 越 秀 仁  
学 校 教 育 指 導 主 事 吉 澤 清  
学 校 教 育 指 導 主 事 山 岸 澄 雄  
学 校 教 育 課 学 校 再 編 係 長 一 本 木 晋
- 5 事務局 学校教育課庶務係長 平 林 晃
- 6 傍聴者 一 名

中村教育長：おはようございます。

それでは、これから第4回教育委員会を始めたいと思います。

よろしくお願いいたします。

議事録の承認ですが、現在回しておりますので、内容ご確認いただき、ご署名をお願いします。

次に3番目の教育長報告ということでお願いをしたいと思います。

中村教育長：資料説明

説明は以上ですが、何かありますか。

下川教育委員：メンドシーノ姉妹都市交流について、今年度は実施するということだが、実施にあたって、市の補助はあるのか。

藤巻生涯学習課長：今年度は、1,100万円余補助があります。

下川教育委員：市の負担は例年並みか。

今まで行けなかった学年も行くと聞いているが。

藤巻生涯学習課長：それもありますが、燃料サーチャージなど、物価高により増額となっております。

前は、340万ぐらいであったかと思いますが、3倍近い増となっております。

下川教育委員：わかりました。

中村教育長：他には何かございますか。

では次に報告事項ということで、学校における事件・事故等について、事務局説明をお願いします。

平林学校教育課長：資料説明 【非公開とする】

中村教育長：以上よろしいでしょうか。

それでは、5番の議事の方へ移りたいと思います。

議案第25号、大町市公民館運営審議会委員の委嘱について、事務局説明をお願いします。

藤巻生涯学習課長：資料説明

中村教育長：ご意見ありますか。

北澤教育委員：女性が非常に少ないように思われる。女性の意見を公民館の中で反映できるように、女性の委員が増える工夫をお願いしたい。

藤巻生涯学習課長：女性の選任をいただけるような方策を考えていきたいと思う。

下川教育委員：これからはシニアが公民館活動を支えていく世代だと思っている。

公募はどういう形でやって、どのぐらいの人から応募があって、その中でどういう形で選任しているのか。

藤巻生涯学習課長：応募については広報やホームページで周知している。

詳細は聞いてないが、応募数はそんなに多くないと思われる。

下川教育委員：公募委員は、比較的連続してやっていただいているのか。

藤巻生涯学習課長：大町公民館については、前任から引き続き出でいただいている。

下川教育委員：わかりました。

少し長くやっていただいて、ご意見をいただくという形や、候補がない場合は先ほど北澤委員がおっしゃった形で女性とか、今までと違った視点で意見を言える方に声掛けする、そういうことも考えていただきたい。

中村教育長：ではこの議案第 25 号については、よろしいでしょうか。

では議決いただきました。

続きまして議案第 26 号、市立大町図書館協議会委員の委嘱について、事務局説明をお願いします。

藤巻生涯学習課長：資料説明

中村教育長：ご質問、ご意見ございますか。

よろしいでしょうか。

それでは議案第 26 号について、議決していただきました。

続きまして議案第 27 号、大町市スポーツ推進審議会委員の委嘱について、事務局説明をお願いします。

松下スポーツ課長：資料説明

中村教育長：ご質問、ご意見ございますか。

よろしいでしょうか。

それでは議案第 27 号について、議決していただきました。

続きまして議案第 28 号、大町市スポーツ推進委員の委嘱について、事務局説明をお願いします。

松下スポーツ課長：資料説明

中村教育委員：ご質問、ご意見等ございますか。

よろしいでしょうか。

下川教育委員：地区の記載がありますが、地区で何かバランスを取ってというようなことはあるのか。

松下スポーツ課長：それぞれの地区から、ある程度の枠というものを設けて推薦してもらおうと思っていた。それぞれの公民館行事とか、それぞれの地区でのスポーツ関係の行事での指導を行うということがあるので、それぞれの地区から選出していただきたいと思っているが、偏りがでてしまっている状況である。

中山教育長職務代理：スポーツ推進審議会でも国民スポーツ大会についても審議していくことになるのであれば、クライミングの経験者などは入っているのか。

松下スポーツ課長：競技種目選定の際に、審議会でも協議した経過はある。今後もある程度方向性が決まったら、説明をしていくという形になると思われる。

下川教育委員：クライミングは確かに結構特殊なので、経験者じゃないとわからないこともあるのではないかと。

山岳総合センターに専門家がいれば、やはり入ってもらったほうが良いのかなと思う。

松下スポーツ課長：国民スポーツ大会に関しては、市で体制を整えることになるが、最終的には、県内のそれぞれの協会や山岳クライミング協会などで協議されて行くことになると思われる。

牛越国スポ準備室長：大会における各種目については、それぞれ基準が決まっているので、

審議会で決定するといったことは無いものと考えます。

**鈴木山岳博物館長**：参考ですが、名簿の最後の赤梅さんは県の山岳総合センターの職員も兼ねております。

**中村教育長**：この議案第 28 号、大町市スポーツ推進委員の委嘱についてはよろしいでしょうか。

では議決いただきました。

これで議事の方は終わりましたので、続きまして協議事項についてお願いします。

最初に小学校再編に関する準備委員会の組織について、事務局説明をお願いします。

**一本木学校再編係長**：資料説明

**森教育委員**：大町中学校が開校するまでと開校してからで、現在浮き彫りになっている課題があったら教えて下さい。

**一本木学校再編係長**：開校する以前から、通学方法は大きな課題でした。

まだ、始まったばかりですが、これからも様々な問題が出てくるかと思えます。そういった部分については、学校運営協議会などの意見を聞きながら、変更しなければならぬ事案については、どのような形がとれるかどうか、検討して参りたい。

この通学方法だけでなく、部活動での移動など、まだまだ始まったばかりで、どんな課題が出てくるかわからない状況でありますので、課題が出た時点で、ひとつひとつ丁寧に対応して参りたい。

**中村教育長**：よろしいでしょうか。

他には、ございますか。

**下川教育委員**：先生方と話す中で、支援学級は必要数作っていただいたが、子供が 1 人になって、ちょっと落ち着くような、クールダウンできるような空間があったらいいなという話があった。

大町中がスタートしてから 1 週間、1 ヶ月、3 ヶ月、半年といった節目で、何か課題があるかどうかという確認は必要だし、何か変える必要があれば、それが教育委員会に上がってくるような雰囲気が必要だし重要かと思う。

中学再編で課題になったことで小学校の共通的な課題なのであれば、それは早めに対応していく必要がある。そう思いました。

**中村教育長**：中学校の課題を教育委員会の方に、上がってくる必要があるということで、この再編準備委員会の中に、それぞれの学校の校長以外の先生を入れるというような形をとらせていただいている。校務等調整委員会等は、校長が関わるというよりは、参加する職員が状況を知っていることで、いろいろ説明もしやすいし、先生方の意向や気持ちを吸い上げることができるのではないかと考えています。

**下川教育委員**：例えば、「連合自治会の代表者」という表現をしてあるが、これはとても良いと思っていて、今までは連合自治会の会長としていたが、そうではなくて、代表者という表現にしてあり、こういう課題に対してふさわしい方を推薦・選出してくださいって言い方だと思っていて、それはいいなと思っている。

また、会議に欠席する場合はその代理の方を出していただく必要があるのではないかという意見があり、私もその通りだと思っております。

**北澤教育委員**：再編準備委員会は、単年度でなく、2年度にまたがることになるが、役員が変わって、それまでの1年間でやったことが、次にうまくつなげられてないとまた初めからみたいなことになってしまうのではないか。

**一本木学校再編係長**：中学の再編の際も、会長が1年で終わってしまうということで、2年間携われる副会長に出ていただいた。今度もそのように考えている。

**中村教育長**：続きまして、2ページ目の「主な役割や検討事項」ということで、この内容について、ご質問、ご意見等ありますか。

**下川教育委員**：今回、小学校ということで、何か追加したりした項目ありますか。

**一本木学校再編係長**：体操着に関するところが、中学とは違い、校務等調整委員会に入れています。

**中山教育長職務代理者**：子供同士の交流について、東小の場合、それぞれの学校に分かれてしまうため、中学とは違い児童の交流が非常に難しいと思われるので、丁寧な対応をお願いしたい。

**一本木学校再編係長**：調べた限りでは、小学校が分かれての再編というのは、全国的にも珍しいと思われる。

中学の再編とは違い、3年という期間があるので、丁寧にやっていく必要があると思います。

**中村教育長**：地域の皆さんの気持ちなども配慮しながら進めていく必要があると思われる。

**中山教育長職務代理者**：放課後児童クラブ等の会場について、子育て支援課と十分調整していただいて、進めていただければと思います。

**下川教育委員**：児童クラブもそうですが放課後子ども教室の場所を含め、どうするかという議論をそろそろ始めてもいいのではと思っている。

子育て支援課と教育委員会生涯学習課が具体的な話を進めていただきたい。

**中山教育長職務代理者**：コロナの関係で学校になかなか行けなかった時期が続いて、現在の小学校4年生になる子供たちは入学の時から学校に馴染むための様々な活動などがなかった関係で、全国的に不登校が非常に増えているといったニュースも聞くなかで、再編となると子ども達は、また新しい環境でということになる。子供たちの現状を見ながら丁寧に対応していくということが必要かと思う。

**中村教育長**：不登校の問題については国でも、とても重要にとらえていて、この3月に「こころプラン」というものを出しております。

その中で、いつでも子供たちが学びたいときに学び直しができるというものを作っていかなければということで、今、各市町村でもそういう取り組みをしているところが多いと思います。

大町市でも、大町中学校の方では、子供たちの居場所として、相談室と学習室というものを作って対応しております。

**下川教育委員**：今回のスケジュール案は、中学校の再編をベースに作ったということですが、中学と違い小学校4校を2校へという再編になるということで、なにか配慮された部分はありますか。

**一本木学校再編係長**：再編までの期間がある程度あるので、余裕をもってスケジュールを組んでいる。

**下川教育委員**：小学校の①実施設計業務のところ、パブコメが8月に記載されているがどういった内容について集めるかなど、5月から11月の間の細かいスケジュールを出していただきたい。

必要な教室や設備数について、どういう数字でプロポーザルをするのかという点を私は知りたいです。

校地選定では、低学年棟を建てるという図面を市民の方に示す中で、私たちは議論をして

きた経緯もあるので、地域の方は、そういう建物ができるというイメージを持っている方も多いと、それが蓋を開けてみたら違っているというのではまずい。やはり、前段で、こういった検討して、こういう理由のもとに、こうなりますといった説明は必要かと思う。

**北澤教育委員**：常盤・社の新小学校は、令和8年度から改修工事を行うということか。

**一本木学校再編係長**：現時点での予定ではそのようになっており、議会等にもそのように説明している。

現在、このスケジュールも含めて再検討しているところである。

**下川教育委員**：長寿命化の補助金ではない他のやり方だと、令和7年度から始めるということもあり得るとのことか。

**一本木学校再編係長**：そういったことも含めて検討していくことになるかと思う。

**下川教育委員**：社地区の方で、平・大町地区の小学校と同じように、改修や増築工事が終わった学校に行けると思っている子供たちや保護者もいると思う。

いずれにしても、こういう理由によって、こうなりますという、説明を丁寧にしていただきたいと思う。

**中村教育長**：状況によって、変わる可能性もあるということをご理解いただければと思う。

**中山教育長職務代理者**：劣化度調査を早めることはできないのか。

**平林学校教育課長**：劣化度調査が必要かどうかという部分も含めて今年度検討する予定です。

**中村教育長**：ありがとうございました。

それでは続きまして、令和4年度の教職員勤務時間の状況について、事務局説明をお願いします。

**平林学校教育課長**：資料説明

**中村教育長**：この件について何かご意見ございますか。

**中山教育長職務代理者**：月40時間ということは、一日2時間はサービス残業をしているということで、その程度のサービス残業でさえも実は問題だということを先生にも知らせてお

く必要があると思われる。

**森教育委員**：大町中学校が開校する直前なのですが、先生方の業務がかなりたくさんあって、長時間勤務になっていたという話を聞きました。工夫が必要かなと思いました。

**中村教育長**：その辺の状況についても、学校訪問した際に、聞いてきたいと思います。先生方の人数が増えたとしても、やはりやることがとても多いと思いますので、その辺の内容についても、状況を確認していきたいと思います。

**下川教育委員**：国の方が育休を取りなさい、労働時間は厳守しなさいというが、現場としてはやはり難しい課題であり、市教委の手ではなかなか解決できない問題であり、県教委にあげて推進してもらおうというとか、そういう問題提起は、していかないといけないと思う。

**下川教育委員**：部活動のクラブ化の話で、例えば吹奏楽を教えている音楽の先生の出勤時間を10時頃にして、フレックス勤務をするというようなことも考えないといけない。

**中村教育長**：県教委との懇談のような機会もありますので、そういうところで、こちらから発信をしていかなければと思っております。

ちょっとここだけでは解決できる問題ではありませんので。

以上でよろしいでしょうか。

では、連絡事項の方ですが、先ほどちょっと触れましたので、この辺のところはこのような日程で動いていきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

※第6回教育委員会 6月22日（木）午後3時から西会議室にて開催

**下川教育委員**：学校登山について、これはコロナ禍で中断していると思っていいですが、やはり登山というのは、大町市は山岳都市ですし、そしてなにより子供たちに登山の経験はさせてあげたいなと思っています。

ただ、何年ものブランクがあるので、登山を再開するとなると結構ハードルが高いのではないかと。その場合にも先生方だけで、企画し実行するのではなく、コミュニティスクールの力を発揮できればと思っています。

校長会や教頭会等で、教育長の方から、登山についてどう考えるかということについて、ご意見をいただいてもらえばと思う。

ぜひ、再開に向けて検討していただきたいと思っている。

**中村教育長**：全県的に見ても多分実施しているところは半分以下という状況になってきてい

る。

また、ここ数年実施していない中で、すぐやれというのはとても難しい。特に大町中学校の体制では特に難しいというのが現状である。

いずれにしろ、今雄ご検討して参りたいと思います。

**北澤教育委員**：子育て支援課で行っている「私の成長・発達手帳」と、教育委員会で行っている「キャリアパスポート」ですが、目的が違うとは思いますが、内容的に重複する部分もたくさんあり、ますます先生の負担が多くなるのではないかと思う。統一するなどの工夫は出来ないのでしょうか。

**吉澤学校指導主事**：それは誕生から、学区域のお子さんについてずっと見守っていこうということで、長野県が始めたものでありまして、障害のあるお子さんが対象になっている。

パスポートの方は、大町市で行っているもので、それぞれの自治体で、形式等を考えて、入学から卒業するところまでをカバーすることで、学ぶ力を育てることを目的としております。

やはり中身で重なる部分はありますが、目的が異なるものとなっております。

**北澤教育委員**：パスポートなどは、最終的に家庭が管理することになる。こういった情報は市が保有していた方が、何かあった時に役に立つのではないか。

**吉澤学校指導主事**：データは、市として所有しており、何かあった時は活用しております。

**中村教育長**：今の学校は、学校教育だけではとても対応できない、福祉の分野がどうしても必要になってきているというのが現状だと思います。これも今後、市長部局と話をしていく内容になると思います。

よろしいでしょうか。

これで第4回教育委員会を終わりたいと思います。

《12：11 閉会》